

# 小中学校のいじめ問題は

## 重大事態はない

**問** 新たな学習環境において学力面で心配な児童生徒の指導にどう取り組んでいるか。

**佐々木教育長** 統合前の学校からの引き継ぎにより、個別対応に努めている。小学1年生は、各学級に学校支援員を配置し、学習支援に努めている。

**問** いじめは発生しているか。

**教育長** 2年11月末時点において、小学校3校で

18件、中学校で20件を認知している。各校では、いじめ防止基本方針に基づき対応し、重大事態の報告はない。

**問** 給食費の滞納はあるか。

**教育長** 2年11月末時点の納付率は99・1%である。

# 山田魚市場の位置付けは

## 漁業を支える拠点

**問** 山田魚市場の存続について水産業の町として位置付けはどのように考えていくか。

**佐藤町長** 魚市場は漁業者と消費者をつなぐ役割を担い、漁業を支える拠点であると認識している。秋サケの不漁等で経営が厳しいが関係団体等と経営健全化に向けた取組が進められており、町ではその動向により今後の対応を検討する。

**問** 新たな養殖漁業への取組計画は。また、山田魚市場に水揚げする予定か。

**町長** 三陸やまだ漁協から8月にトラウトサーモン試験養殖の支援要請が

あり、町は一部費用の補助を検討している。3年度に実証試験を開始し、4年春には、魚市場に水揚げできるものと見込んでいる。

**問** 復興事業も終わり若者の雇用の場を求める声を聞くが企業誘致活動は。

**町長** 雇用の受け皿となる企業誘致は、町の発展に欠かせない。コロナ終息後を見据えた対応を進めていきたい。

**問** 復興で生じた土地を工業用地にできないか。

**町長** 産業用地として山田地区の国道45号周辺、織笠川左岸部の活用をすることで進めている。

# 大浦地区の道路整備は

## 改善策を考え進める

**問** 大浦地区の旧製材所付近の町道は防潮堤との境が分からないほど水たまりができ通行に支障がある。防潮堤管理者と協議し、改善策を考えているか。

**町長** 県は防潮堤内の集水ますに雨水などを誘導する工事を予定。町は町道の排水施設を計画し、

県と町で改善に努めた

**問** 町道秀禪上線は復旧工事との兼ね合いで未舗装となっている。生活関連道なので路面修復を定期的に。

**町長** 今後も路面修復に努め、早期の本復旧に向け整備を進める。



議員 関 清 貴  
(政 和 会)



環境改善が待たれる大浦地区の町道